

第 35 回四国作業療法学会趣意書

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、四国作業療法士会連絡協議会の活動に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、第 35 回四国作業療法学会は「共に前へ ―私たちは未来に何を残せるか―」をテーマに掲げ、一般社団法人高知県作業療法士会が担当いたします。このテーマには、臨床・教育・研究それぞれの立場を超えて、世代や県境も越えながら、共に力を合わせてより良い未来（明日）へ繋がるように出会いと学びと気づきのある学会にしたい、という願いを込めました。実行委員長は桂雅俊氏（高知健康科学大学）、事務局長には佐野秀平氏（海辺の杜ホスピタル）が任命されています。任命後に私たちがまず取り掛かったことは、過去の四国作業療法学会の学会誌を読むことでした。そこには、長い歴史と積み重ねられてきた諸先輩方の努力が刻まれており、改めて作業療法の精神を引き継いでいく必要性と世代を超えて作業療法士が力を合わせていくことの重要性を感じた次第です。

開催日は 2026 年 10 月 17-18 日の 2 日間で、場所は高知健康科学大学／土佐リハビリテーションカレッジ（高知市大津乙 2500-2）での開催を予定しています。皆様の日々の臨床での学びや気づきを、ぜひご発表いただければ幸いです。

高知県での現地開催は、2016 年以来 10 年ぶりとなります。2020 年に予定していた高知開催は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期され、2021 年にやむを得ずオンラインでの実施となりました。その時の対面開催を願って準備されていた、当時の学会長や実行委員の方々の想いも引き継ぎながら、10 年ぶりの現地開催に向けて誠意をもって準備を進めてまいります。本県は、古くから宴会のことを「おきやく」と呼び、知り合いはもちろん、初対面の方とも分け隔てなく関わり合う文化が根付いております。この「おきやく文化」は宴席に限らず、日常の様々な場面においても、人と人との温かな交流を育んでいます。そんなこの高知の地で、皆様と直接お会いし、交流できる日を心より楽しみにしております。

最後になりますが、本学会が、より良い未来を築く一歩となるよう、そして未来の作業療法士たちへ想いを繋ぐ場となるよう、世代や立場を超えて手を取り合い、共に歩んでいきたいと願っております。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

四国作業療法士会連絡協議会
会 長 前田 悠志
第 35 回四国作業療法学会
学会長 稲富 惇一